

藻類

THE BULLETIN OF JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

昭和31年5月 May 1956

目次

京都市及び近郊の水田産ツヅミモ	金網善恭	1
紅藻ヒヂリメンの体の構造と生殖器官に就いて	川端清策	8
アマノリ類の生活史、特に所謂夏ノリに就いて (マルバ型アサクサノリの生活史)(予報)	黒木宗尙	13
アカバ属の雄性生殖器官について	田沢伸雄	19
中国におけるアサクサノリに関する研究の紹介	吉田忠生	21
利尻島の採集から	秋山優	29
デンマルクの日	山田幸男	30
北米南加大学の Allan Hancock Foundation における海藻研究廃止さる	時田 郁	34
Dr. ELENA S. SINOVA 女史(ソ連)の逝去	時田 郁	35
新著紹介 岡村金太郎著 日本海藻誌 第二版		35
学会録事		36

日本藻類學會

JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

日本藻類學會會則

(總 則)

第1條 本會は日本藻類學會と稱する。

第2條 本會は藻學の進歩普及を圖り、併せて會員相互の連絡並に親睦を圖ることを目的とする。

第3條 本會は前條の目的を達するために、次の事業を行う。

1. 總會の開催 (年1回)
2. 藻類に關する研究會、講習會、採集會等の開催
3. 定期刊行物の發刊
4. その他前條の目的を達するために必要な事業

第4條 本會の事務所は會長のもとにおく。

第5條 本會の事業年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(會 員)

第6條 會員は次の3種とする。

1. 普通會員 (藻類に關心をもち、本會の趣旨に賛同する個人又は團體で、役員會の承認するもの)
2. 名譽會員 (藻學の發達に貢獻があり、本會の趣旨に賛同する個人で、役員會の推薦するもの)
3. 特別會員 (本會の趣旨に賛同し、本會の發展に特に寄與した個人又は團體で、役員會の推薦するもの)

第7條 本會に入會するには、住所、氏名 (團體名) 職業を記入した入會申込書を會長に差出すものとする。

第8條 會員は毎年會費300圓を前納するものとする。但し名譽會員及び特別會員は會費を要しない。

(役 員)

第9條 本會に次の役員をおく。

會 長 一 名 (任期は2ケ年とする)

幹 事 若干名 (任期は2ケ年とする)

會長は總會に於て會員中よりこれを選出する。幹事は會長が會員中よりこれを指名する。

(刊 行 物)

第10條 本會は定期刊行物「藻類」を年3回刊行し、會員に無料で頒布する。

附 則

この會則は昭和28年10月11日から施行する。